

R-18

Limiter

翔ちゃんは誰にたって優しい
だからその視線が
僕だけに向くことはない

ねえ
ねえ
そうして知らない表情を
覚えていくの？

僕が知らない時間を過ごして
少しずつ変わっていく

それなら
僕だけのものになつて
くれたらいいのに

※Attention

この本は、四ノ宮統合済
Repeat～ファンディスクの間ぐらいの話です。

LiMit

僕と翔ちゃんの“好き”の間には大きな隔たりがある



欲しい と思って手を伸ばしても



僕の手から 簡単に すり抜けてしまう



答えがわからない僕に 小鳥さんは答えてくれました

閉じ込でしまえば
いいだろ？

どーしたんだよ
那月？

抱き枕なら
ならねえぞ

抱き枕に
ならなくていいよ

あのね
もっと翔ちゃんを
感じられて
独り占めできる魔法

良い方法…?
なんだよ
方法って

僕ね

小鳥さんから
もっと良い方法を
教えてもらつたんです

感じ…つて

お前さ
なんかさつきから
テンションおかしいぞ？

どうか僕の傍を離れないで

捕まえた

可愛い翔ちゃん
ね?

変じやないよ?
ただただ嬉しいんだ







どう？

そのまでいてくれたら
本当は十分だつたんです

さらつてしまいたい
来るならあなたを

でもそれはもう
とても難しいことだつて

だから

僕しか手の届かない場所に
閉じこめさせてください

離したくないよ

ねえ

その声すらも
すべて

俺になにか
してほしくて
こんな事してんたる?
聞いてやるから

そうだ

それは

それは違うよ翔ちゃん

僕だけに

色んな表情を

結わない表情も
僕だけに向けて

僕だけの
ものになつて

僕たち

どうもしなくていいんです
翔ちゃんは
だつてそれは叶わないって
解つてているから

ねえ
僕だけに
可愛い姿を見せて?

僕は翔ちゃんがほしい
僕だけの傍にいないと
とても不安になります

親友のままで
いられないか

：那月



那月

那月

翔ちゃん
心配しなくとも大丈夫だよ
この場所なら
僕達が傷つくことはない

本当?

嬉しい!
ならずつと

ここにいてください

だから

那月

僕、一生懸命
翔ちゃんの
お世話をするから

お前が安心するまで
そばに居てやるから

寂しい思いさせた
なら悪かった

：那月
そういう問題じゃない
それはさ
ペットと同じだし…

翔ちゃんは
僕のこと、嫌い？



ねえ、翔ちゃん
僕も翔ちゃんのことが
大好き

那月



ねえもつと
声を聞かせて

いや？

ピタ

…無理、
いうつ…な…

僕だけに

んあつ

川中

…やつ、あ…あ

…やめ…
つ…やあ…

なら…
やめますか？

でも
いいの？

翔ちゃん
すつごくすつごく
辛そうだよ

…つあ…あ…

や…



翔ちゃん、
抱きしめながら
させて

ね…お願い

よくできました

…つかつ





つや…

つか…

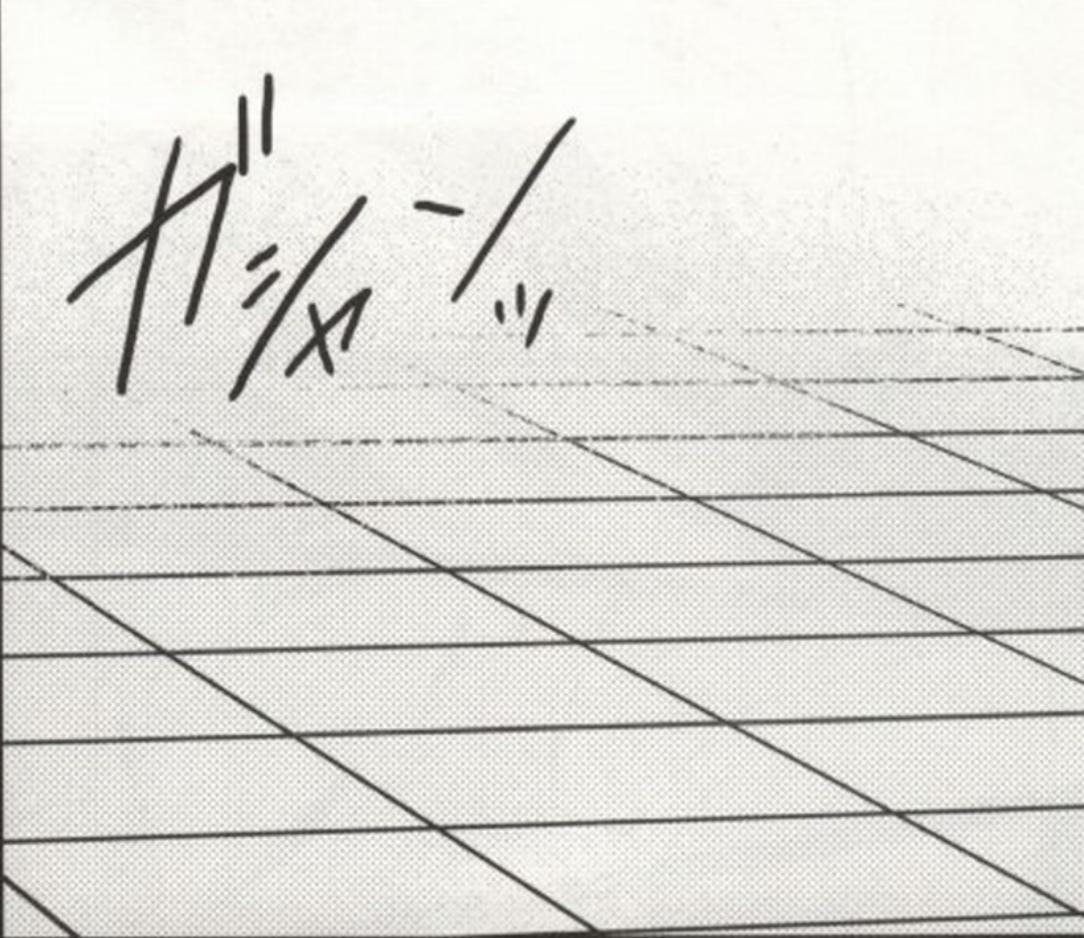
ちやん…
…ごめんわ

：ばーか

何謝ってんだよ
そんな表情までしてさ

今のお前は
どうして関係が壊れないかなんて
ここまで頭が回っていないんだろ

俺も
お前といら



翔ちゃん
手錠…

これで同じだ

お前いつも
一方通行みたいに
言うけどさ…

寂しいのが

自分だけな
思うなよ

ずっと一緒つて
こういうことだろ？

uta pri Unofficial fanbook
Natsuki × Syo
by Agatha